

東京都高体連体操女子専門部申し合わせ事項（体操競技）

2023年4月

※以下の申し合わせ事項は、学年別大会、秋季大会に限る。

●参加資格

- ・本年度、高体連体操専門部加盟校の所属で、東京都体操協会の選手登録を完了した者。
(ただし、当該年度の関東高等学校体操競技選手権大会・全国高等学校体操競技選手権大会の参加資格を有したものの、及び、出場したものは参加資格がない。)

●器械寸度（会場の都合により若干の変更がある）

- ・跳馬：床面より125cmの跳馬を用意する。
- ・段違い平行棒：高棒は床面より255cm、低棒は床面より175cmとする。(2022年度より変更)
- ・平均台：床面より125cmとする。
- ・ゆか：12m×12mとする。※ただし、会場によってはタンブリングボードを使用する場合もある。

※跳馬、段違い平行棒、平均台では、着地点に会場で準備された10cm着地用マットを使用しなければならない。(20cmエバーマットでもよいが、併用はできない。)

●採点に関して

- ・日本体操協会制定の2022年版女子採点規則（変更規則I）及び、(公財)日本体操協会HP掲載の最新情報を適用する。ただし、一部東京都高体連ルールとして、以下のように変更する。

①終末技ボーナスを以下のように変更する。

- ・A=0.3 B=0.5 C以上=0.7

②【跳馬】

- ・着地前に、跳馬上に頭や手の平以外の身体の一部が触れた場合 D=1.0 E=5.0

③【段違い平行棒】

- ・以下の技を承認する。
高棒前振り逆上がり=A
低棒での終末技（難度表に記載のある難度で承認。）

④以下の技を終末技で実施した場合、「落下の減点はなし」とする。ただし、終末技なし・DVは7つまでしか数えない。

【段違い平行棒】フット下り 【平均台】ロンダート下り

※ゆかのアクロバットの数え方は、一般規則に準じます。